

令和 8年度予算見積調書

課室名：道路環境課
担当名：補修担当
内線：875105

(単位：千円)

番号		事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P113		インフラ日常管理DX推進費（道路）			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路管理費		
事業期間	令和 7年度～	根拠法令	道路法				針路分野施策	09 未来を見据えた社会基盤の創造 0903 埼玉の活力を高める道路ネットワークの構築	SDGsゴール SDGsターゲット	9, 11, 13 9-1, 11-5, 11-7, 13-1	
1 事業概要 道路・河川については、道路法、河川法に基づき適切に管理しなければならないため、地域機関における道路・河川のパトロール実施、地域住民からの苦情や要望受付等、現地での対応が不可欠である。 パトロール日誌や苦情報告書の作成では、位置情報と連携させる必要があるため、現場の写真や位置図の添付、記録データの管理等を手作業で行っていたが、令和7年6月に道路・河川維持管理支援システムを導入し、運用を開始した。 インフラ日常管理業務の更なるDXを推進するため、本システムの活用により情報の一元化を図り、業務の効率化と、県民サービスの向上を目指す。					5 事業説明 (1) 事業内容 インフラ日常管理DX推進費（道路） 12,525千円（事業全体額 21,650千円） インフラ日常管理(道路・河川)の「情報の一元化」「迅速な情報連携」「情報の見える化」を図るため、道路・河川管理を支援するシステムの運用保守を行う。 (2) 事業計画 ア 事業実施時期 令和7年度～ イ 道路・河川維持管理支援システムの機能 (ア)道路・河川パトロールの巡回ルートや損傷箇所、不法投棄箇所等の記録をスマートフォンアプリで行う。 (イ)現場で記録した情報に加えて、職員が事務所で受けた情報をクラウド上で記録することで、リアルタイムで県庁、各県土整備事務所、現地パトロールとの情報共有を可能にする。 (ウ)パトロールや県民からの苦情記録で蓄積されたデータをヒートマップ等で可視化する。 ウ 事業実施箇所 12県土整備事務所、総合治水事務所、道路環境課、河川環境課 (3) 事業効果 インフラ日常管理システムの導入により、職員の業務時間の削減、パトロール業務の効率化など、業務の改善が図られる。 【活動指標(アウトプット)】 書類作成時間の削減、データ集計事務の効率化(1人あたり月7時間) パトロール日誌作成時間の削減(年間3,660時間) 【成果指標(アウトカム)】 インフラ日常管理業務のDX化が進み、計画的なパトロールが実現することで異常箇所の早期発見、早期対応など道路・河川管理利用者の安心・安全が確保されている。また、データの蓄積によるインフラ管理の高度化により、県民サービスが向上する。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.29人=2,755千円											

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	12,525							12,525	△2,115
前年額	14,640							14,640	

事業内訳書

事業名	インフラ日常管理DX推進費（道路）		
単位事業名	インフラ日常管理DX推進費	予算額	12,525千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	12,525	△2,115	
合計	12,525	△2,115	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	12,525	△2,115	システム運用補修等業務委託
合計	12,525	△2,115	